

授業科目名	①		
実務経験講師	②	実務経験	③
開講年度	④ 年度	学 期	⑥
年 次	⑤ 年次	授業回数	⑦ 回
単 位 数	単位	単位時間数	時間
授業科目の概要	⑧		
授業科目の到達目標	⑨		

授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7		⑩	
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

使用テキスト	⑪
参考書・資料 等	
この授業科目の前提となる主な科目	
この授業科目から発展する主な科目	
成績評価の方法	
その他 受講生への要望等	

① 授業科目名

② 実務経験講師

講師に担当する科目に関する実務経験がある場合、「○」がついています。

実務経験とは・・・資格をもっているだけではなく、実際の施設等で資格を活かして働いた経験があるということ。

※一部を除き、違う学校で同様の科目を教えている等の教員経験は実務経験に含まれません。

③実務経験

担当講師の実務経験内容を簡単に記してあります。

④開講年度

⑤年次

授業を受ける学年です。

⑥学期

前期・・・4月～9月

後期・・・10月～3月

通年（全期）・・・1年間を通して、もしくは前期～後期にかかるどこかの期間で

⑦授業回数

⑧授業科目の概要

授業内容のたまかな説明です。

⑨授業科目の到達目標

授業が修了した時に到達すべき学修の目標です。

⑩授業スケジュールと内容

内容・・・1回の授業がどのような内容で構成されているか

授業方法・・・講義、演習、実習など

課題/小テスト・・・その授業の回に課題や小テストが課されている場合は記載されます。予習の内容が書かれている場合もあります。

⑪使用テキスト

授業で使用するテキストの情報です。プリント等オリジナル教材を使用する場合もあります。

授業科目名	歯科保存学【夜間部】		
実務経験講師	○	実務経験	歯科医師
開講年度	2023年度	学 期	前期
年 次	2年次	授業回数	8回
単 位 数	1単位	単位時間数	15時間
授業科目の概要	う蝕と歯の神経の病気の治療法の原理と処置を理解し、治療にあたっての歯科衛生士の業務内容がしっかり修得されることを目的としています。そして、その知識が歯科診療補助論、歯科予防処置論、歯科保健指導論を学ぶための基礎となります。		
授業科目の到達目標	1 歯科衛生士事業を行うために必要な歯に生じる疾患の種類、診断および治療法の基本を習得する 2 保存治療を行うために必要な材料、器具、手技等を習得する		

授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	歯の保存療法の種類 口腔検査	講義	教科書を読んでくる
2	保存修復治療の概要	講義	教科書を読んでくる
3	直接修復法の概要	実習	教科書を読んでくる
4	歯内療法の概要	講義	教科書を読んでくる
5	歯髄保存療法、歯髄の除去療法	講義	教科書を読んでくる
6	根管治療、根管充填	講義	教科書を読んでくる
7	外科的歯内療法、歯の外傷、安全対策	講義	
8	定期試験	筆記試験	

使用テキスト	歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版
参考書・資料 等	
この授業科目の前提となる主な科目	
この授業科目から発展する主な科目	
成績評価の方法	定期試験
その他 受講生への要望等	

授業科目名	歯周療法学【夜間部】		
実務経験講師	○	実務経験	歯科医師
開講年度	2023年度	学 期	前期
年 次	2年次	授業回数	8回
単 位 数	1単位	単位時間数	15時間
授業科目の概要	歯周治療の全体像を学び、治療の流れを理解して歯科衛生士業務の意義を理解し、さらに、歯周治療における歯科衛生士の役割の重要性をしっかりと認識してもらうことで、歯周治療の一翼を担える優れた歯科衛生士となることを目指します。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯周疾患の種類を説明できる 2. 歯周疾患の診断及び治療の基本を習得する 3. 歯周疾患を説明できる 		

授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	I編1章 歯周治療とは 2章 歯周組織の構造と機能	講義	教科書をよく読む
2	3章 歯周病の分類と原因	講義	教科書をよく読む
3	II編1章 歯周治療の進め方 2章 歯周病の検査	講義	教科書をよく読む
4	3章 歯周基本治療	講義	教科書をよく読む
5	4章 歯周外科治療	講義	教科書をよく読む
6	5章 歯周治療としての口腔機能回復治療	講義	教科書をよく読む
7	6章 メインテナンス	講義	教科書をよく読む
8	定期試験	筆記試験	

使用テキスト	歯科衛生学シリーズ 歯周病学 一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版
参考書・資料 等	
この授業科目の前提となる主な科目	予防システム論、歯周病予防法Ⅰ・Ⅱ
この授業科目から発展する主な科目	業務管理
成績評価の方法	定期試験
その他 受講生への要望等	予習復習をしっかりとしましょう。

授業科目名	歯科補綴学【夜間部】		
実務経験講師	○	実務経験	歯科医師
開講年度	2023年度	学 期	前期
年 次	2年次	授業回数	8回
単 位 数	1単位	単位時間数	15時間
授業科目の概要	歯質が崩壊あるいは歯や顎が欠損した場合に、その部分をクラウン、ブリッジ、義歯やインプラントなどの人工装置で補い、機能の回復と見た目の自然観の回復をさせ、口腔機能の維持、改善について知識を習得する		
授業科目の到達目標	1.歯質欠損に対する歯冠修復と歯列の一部、あるいは全部欠損に対する咬合修復方法を習得する 2.補綴治療の種類流れを理解し臨床がスムーズに行えるように材料、器材の取り扱いを習得する		

授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	I 編. 補綴歯科治療に関する基礎知識 1章 歯科補綴の概要 2章 補綴歯科治療の基礎知識	講義	教科書 P4~47
2	II 編. 補綴歯科治療の実際と歯科衛生士の役割 1章 補綴歯科治療における検査	講義	教科書 P50~69
3	2章 クラウンブリッジ治療	講義	教科書 P70~109
4	3章 有床義歯治療の実際	講義	教科書 P110~179
5	3章 有床義歯治療の実際	講義	教科書 P110~179
6	4章 インプラント治療 5章 特殊な口腔内装置を用いる治療	講義	教科書 P180~223
7	6章 補綴歯科治療における器材の管理 全体の復習、義歯の印象、器材などのデモ	講義	教科書 P224~230
8	定期試験	筆記試験	

使用テキスト	歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版
参考書・資料 等	
この授業科目を前提とする主な科目	口腔解剖Ⅱ
この授業科目から発展する主な科目	歯科放射線学、業務管理
成績評価の方法	定期試験 出席 授業態度など総合的に判断します。

その他

受講生への要望等

授業科目名	口腔外科学・麻酔学【夜間部】		
実務経験講師	○	実務経験	歯科医師
開講年度	2023年度	学 期	前期
年 次	2年次	授業回数	11回
単 位 数	1単位	単位時間数	22時間
授業科目の概要	口腔外科は、ほとんどすべての基礎歯科医学、臨床歯科医学に立脚した学問です。したがって、まずこれらの基本的な知識の十分な理解と習得を目指し、その上で口腔外科としての専門知識を学びます。		
授業科目の到達目標	1. 口腔外科の基礎知識を習得する 2. 歯科医師の介助、器具の準備、滅菌消毒ができる 3. 衛生士が主体、主導となって治療を行うことができる		

授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	I 編 1章 口腔外科の概要 ①口腔外科とは ②顎・口腔領域の特徴と主な疾患	講義	教科書をよく読み、わからない語句を書き出してくる。
2	1章 ③口腔病変と全身疾患 ④基礎疾患と歯科治療	講義	教科書を良く読み、わからない語句を書き出してくる。
3	2章 顎・口腔領域の先天異常と発育異常 ①歯の発育異常 ②口腔軟組織の先天異常と異常 ③口唇裂・口蓋裂 ④顎の先天異常と発育異常		
4	3章 顎・口腔領域の損傷および機能障害	講義	教科書を良く読み、わからない語句を書き出してくる。
5	4章 口腔粘膜の病変 ①水泡形成を主徴とする疾患 ②紅斑およびびらんを主徴とする疾患 ③潰瘍を主徴とする疾患 ④白斑を主徴とする疾患 ⑤色素新着を主徴とする疾患	講義	教科書を良く読み、わからない語句を書き出してくる。
6	4章 口腔粘膜の病変 ⑥粘膜の萎縮を主徴とする疾患 ⑦口腔の乾燥を主徴とする疾患	講義	教科書を良く読み、わからない語句を書き出してくる。

	⑧粘膜の出血および貧血を主徴とする疾患 ⑨そのほかの異常および疾患 5章 顎・口腔領域化膿性炎症疾患 ①炎症とは ②歯周組織の炎症 ③顎骨の炎症 ④顎骨周囲組織の炎症		
7	6章 顎・口腔領域の嚢胞性疾患 ①嚢胞とは ②顎骨に発生する嚢胞 ③軟組織に発生する嚢胞	講義	教科書を良く読み、わからない語句を書き出してくる。
8	7章 顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患 ①腫瘍とは ②腫瘍の分類 ③歯原性腫瘍と非歯原性腫瘍 ④腫瘍類似疾患	講義	教科書を良く読み、わからない語句を書き出してくる。
9	8章 唾液腺疾患 ①唾液と唾液腺 ②炎症性唾液腺疾患 ③唾石症 ④唾液分泌異常 ⑤唾液腺腫瘍 9章 口腔領域の神経疾患 ①顎口腔の知覚神経と運動神経 ②神経痛 ③神経麻痺 ④神経痙攣 10章 口腔外科診療の実際 ①口腔外科治療の流れ ②診察と診断 ③清潔と不潔 ④創傷の処置 ⑤口腔外科小手術(前半) ⑥止血処置 ⑦縫合処置 1章 歯科治療における歯科麻酔と患者管理 ①歯科治療における歯科麻酔の立場 ②全身状態の評価と患者管理	講義	教科書を良く読み、わからない語句を書き出してくる。

10	<p>2章 局所麻酔</p> <p>①局所麻酔法</p> <p>②局所麻酔薬</p> <p>③血管収縮薬</p> <p>④局所麻酔に使用する器材</p> <p>⑤局所麻酔時の局所的偶発症</p> <p>3章 精神鎮静法</p> <p>①吸入鎮静法</p> <p>②静脈内鎮静法</p> <p>③精神鎮静法実施に際する一般的注意点</p> <p>講義総括</p>	講義	教科書を良く読み、わからない語句を書き出してくる。
11	定期試験		

使用テキスト	<p>歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学</p> <p>一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版</p>
参考書・資料 等	「病理学・口腔病理学」参照
この授業科目の前提となる主な科目	
この授業科目から発展する主な科目	業務管理
成績評価の方法	定期試験
その他 受講生への要望等	

授業科目名	小児歯科学【夜間部】		
実務経験講師	○	実務経験	歯科医師
開講年度	2023年度	学 期	前期
年 次	2年次	授業回数	8回
単 位 数	1単位	単位時間数	15時間
授業科目の概要	小児歯科は、成長発育をしている小児を対象として口腔領域の正常な発育をはかり、これを障害する異常や、疾患の予防治療を行うことにより正しい永久歯列を実施させることを目的としているため、常に発達成長を続ける小児が対象であること、母親の協力が不可欠であることより、小児歯科学に必要な対応と知識を学ぶ。		
授業科目の到達目標	1. 小児の身体的・精神的発達および総合咀嚼器官の発育とその阻害因子について説明できる 2. 各ステージにおける小児の理解と特徴的歯科疾患を説明できる 3. 歯科衛生士としての役割を習得する		

授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	総論 1章 小児歯科とは 小児歯科学概論 2章 心身の発育 3章 小児の生理的特徴 4章 顔面頭蓋の発育 5章 歯の発育とその異常	講義	教科書を読んでくる
2	6章 歯列、咬合の発育と異常 7章 小児の歯科疾患 8章 小児虐待	講義	教科書を読んでくる
3	各論 1章 小児期の特徴と歯科的問題点 2章 小児歯科における患者との対応法	講義	教科書を読んでくる
4	2章 小児歯科における患者との対応法 3章 小児歯科における診療体系	講義	教科書を読んでくる
5	3章 小児歯科における診療体系 4章 障害児の歯科治療	講義	教科書を読んでくる
6	4章 障害児の歯科治療 5章 う蝕予防 1章 小児の口腔健康管理	講義	教科書を読んでくる
7	6章 小児の口腔健康管理 7章 歯科診療室と器材の管理	講義	教科書を読んでくる
8	定期試験	筆記試験	

使用テキスト	最新歯科衛生士教本「小児歯科」 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版
参考書・資料 等	
この授業科目の前提となる主な科目	
この授業科目から発展する主な科目	
成績評価の方法	定期試験
その他 受講生への要望等	

授業科目名	歯科放射線学【夜間部】		
実務経験講師	○	実務経験	歯科医師
開講年度	2023年度	学 期	前期
年 次	2年次	授業回数	8回
単 位 数	1単位	単位時間数	15時間
授業科目の概要	<p>現在の歯科診療におけるX線検査の役割は大きく、口腔内病変の進展を診断し、治療方針を決定するためには、X線検査はかかせません。</p> <p>X線を理解することで、医療でなぜ放射線を有効に利用されているのかまた、どうしたら安全に利用できるのかを理解し、習得します。</p>		
授業科目の到達目標	<p>1. エックス線写真撮影時の補助に対応するために必要な撮影手順習得する。</p> <p>2. 放射線防護の方法を習得する。</p>		

授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	第1章 放射線の基礎知識 ①歯科におけるX線写真と画像診断 ②放射線とその性質 ③放射線の人体への影響と防護	講義	予習:教科書 P1～P19 読む
2	第2章 X線画像の形成 ①X線と画像の形成 ②X線フィルムと増減紙 ③デジタル画像系 第3章 歯科におけるエックス線検査 ①口内法X線撮影 第4章 口内法X線撮影の実際とDHの役割 ①口内法X線撮影の準備 ②フィルムとヘッドの位置づけ	講義	予習:教科書 P20～P44、 P62～p84 読む
3	口内法X線撮影実習 実習① ①口内法X線撮影相互実習	実習	
4	口内法X線撮影実習 実習② ①口内法X線撮影相互実習 第3章 歯科におけるエックス線検査 ②パノラマエックス線撮影 ③頭部X線規格撮影 ④その他の画像検査法 第5章 パノラマX線撮影の実際とDHの役割 ①パノラマX線撮影の準備 ②患者の誘導と位置づけ	実習 講義	予習:教科書 P45～61、 P97～P105 読む

5	パノラマX線撮影 実習① ①パノラマX線撮影 相互実習	実習	
6	パノラマX線撮影 実習② ②パノラマX線撮影 相互実習	実習	
7	第6章 写真の処理・放射線治療 ①写真の処置と画像保管 第7章 放射線治療と口腔管理 第4章 口内法X線撮影の実際とDHの役割 ⑤口内法X線撮影のみかた 第5章 パノラマX線撮影の実際とDHの役割 ③パノラマX線写真のみかた	講義	予習:教科書 P108~P126、 P85~P96、P106~P107 読む
8	定期試験	筆記試験	筆記試験

使用テキスト	歯科衛生学シリーズ 歯科放射線学 一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版
参考書・資料 等	
この授業科目の前提となる主な科目	口腔解剖学
この授業科目から発展する主な科目	歯科保存学・歯周療法学、業務管理
成績評価の方法	定期試験 9割 出席状況 1割 授業態度も加味します
その他 受講生への要望等	

授業科目名	歯科矯正学【夜間部】		
実務経験講師	○	実務経験	歯科医師
開講年度	2023年度	学 期	前期
年 次	2年次	授業回数	8回
単 位 数	1単位	単位時間数	15時間
授業科目の概要	<p>頭部・顎・顔面の成長発育とそれに伴って変化する熾烈の変化を知り、その発育を阻害する因子を早期に取り除く事が不正咬合の予防につながることを理解します。さらに、患者に対する矯正治療患者に対する矯正治療の必要性に関する啓発の在り方、不正咬合によってもたらされる障害、矯正装置の口腔衛生に与える影響など、歯科矯正学をわかっていなければ解決できないことが多い。本科目は不正咬合と実際の矯正治療の関連付けができるように基礎的な知識を習得することを目的とするとともに、歯科矯正学の基礎を学び歯科矯正に関する診療補助の方法を学びます。</p>		
授業科目の到達目標	<p>1 不正咬合の治療意義と診断および治療法を習得する 2 歯科矯正治療における衛生士の役割について理解する</p>		

授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	<p>矯正の概論 矯正歯科学概論 矯正歯科学とは何か？ 矯正治療の歴史と必要性について 成長発育(1) 成長・発育 頭部・顎・顔面および歯・歯列の成長発育について</p>	講義	教科書の該当する章を必ず目を通し各自授業に臨んでください。目安時間は30分です。
2	<p>正常咬合と不正咬合(Ⅰ) 正常咬合と不正咬合、不正咬合の種類について 正常咬合と不正咬合(Ⅱ) 不正咬合の原因と予防法について</p>	講義	教科書の該当する章を必ず目を通し各自授業に臨んでください。
3	<p>矯正歯科診断(Ⅰ) 矯正歯科診療所に必要な検査 矯正歯科診断(Ⅱ,Ⅲ) 症例分析、非抜歯治療と抜歯治療</p>	講義	教科書の該当する章を必ず目を通し各自授業に臨んでください。
4	<p>矯正歯科診断(Ⅲ)矯正歯科と力 矯正歯科診療と“力”矯正力・顎・整形力・保定矯正力の種類と歯の移動様式について。 矯正装置(Ⅱ,Ⅲ) 矯正装置の種類と用途について (可撤式矯正装置と固定式矯正装置) 機能的矯正装置・保定装置</p>	講義	教科書の該当する章を必ず目を通し各自授業に臨んでください。

5	矯正治療の実際 上下顎の前後関係の不調和 上下顎の垂直的關係の不調和 成人矯正 口腔顔面の形成異常と変形、歯の埋伏と歯数異常 治療時のトラブルへの対応 保険適用の歯科治療	講義	教科書の該当する章を必ず目を通し各自授業に臨んでください。
6	矯正歯科臨床における歯科衛生士の役割 矯正診断・矯正診断時の業務 矯正治療に用いられる器具について	講義	教科書の該当する章を必ず目を通し各自授業に臨んでください。
7	矯正歯科患者と口腔保健管理、口腔筋機能療法 器材、資料、文章の管理 講義のまとめ・定期試験対策	講義	教科書の該当する章を必ず目を通し各自授業に臨んでください。
8	定期試験	筆記試験	前の講義の際に連絡します。

使用テキスト	歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版
参考書・資料 等	最新歯科衛生士教本 咀嚼障害・咬合異常2 歯科衛生 全国歯科衛生士教育協議会 監修、医歯薬出版
この授業科目の前提とする主な科目	口腔生理学・口腔病理学・小児歯科学
この授業科目から発展する主な科目	口腔外科学、業務管理
成績評価の方法	定期試験 授業態度20% 試験(筆記)80% で評価を行う。
その他 受講生への要望等	講義後の該当箇所について、教科書による復習を行うこと。

授業科目名	障害者・高齢者歯科学【夜間部】		
実務経験講師	○	実務経験	歯科医師
開講年度	2023年度	学 期	前期
年 次	2年次	授業回数	8回
単 位 数	1単位	単位時間数	15時間
授業科目の概要	全身疾患、摂食嚥下障害、介護を要する高齢者が増加している。 高齢者に対し、他職種との連携の必要性や対応、知識を学ぶ。		
授業科目の到達目標	1. 高齢者の身体的、精神的特徴の理解と衛生士としての歯科治療上必要な対応を説明できる 2. 歯科治療におけるスペシャルニーズ(疾患、行動調整、口腔衛生管理、安全管理、リハビリなど)を説明できる		

授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	障害者歯科 1章 障害の概念 2章 歯科医療で特別な支援が必要な疾患	講義	教科書を読んでもくる
2	3章 障害者の歯科医療と行動調整 4章 健康支援と口腔衛生管理 5章 リスク評価と安全管理	講義	教科書を読んでもくる
3	6章 摂食嚥下リハビリテーションと歯科衛生士割 7章 地域における障害者歯科 8章 障害者歯科荷をける歯科衛生過程	講義	教科書を読んでもくる
4	高齢者歯科 Ⅰ編 高齢者を取り巻く社会と環境 Ⅱ編 加齢による身体的・精神的変化と疾患	講義	教科書を読んでもくる
5	Ⅲ編 高齢者の状態把握 Ⅳ編 口腔ケア	講義	教科書を読んでもくる
6	Ⅴ編 摂食嚥下リハビリテーション	講義	教科書を読んでもくる
7	Ⅵ編 高齢者に関わる医療と介護 Ⅶ編 高齢者歯科における歯科衛生過程	講義	教科書を読んでもくる
8	定期テスト	講義 筆記試験	

使用テキスト	歯科衛生学シリーズ 障害者歯科学 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版
--------	--

参考書・資料 等	
この授業科目の前提となる主な科目	
この授業科目から発展する主な科目	歯科保健指導
成績評価の方法	定期試験
その他 受講生への要望等	

授業科目名	歯周病予防法Ⅱ【夜間部】		
実務経験講師	○	実務経験	歯科衛生士
開講年度	2023年度	学 期	通年
年 次	2年次	授業回数	45回
単 位 数	3単位	単位時間数	90時間
授業科目の概要	<p>歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、および態度を習得することを目的とします。</p> <p>歯周病予防法Ⅰで学んだ知識を踏まえ、相互実習を行うことで技術を身に着けます。</p>		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯周病の原因と分類、進行および予防方法を説明できる 2. 歯、歯肉、口腔の検査が出来る 3. シックルタイプスケーラー・キュレットタイプスケーラーを操作できる 4. 歯面清掃・歯面研磨の意義を説明できる 5. 歯面清掃・歯面研磨ができる 6. 歯面清掃器材の種類と使用方法を説明できる 7. シャーピングができる 8. 導入や言葉かけなど患者対応が出来るようになる 9. 歯周病と生活習慣の関連を説明できる 10. 歯周病と全身疾患との関連を説明できる 11. 対象者の歯周病リスクの評価方法を説明できる 12. SPTの目的・処置内容・実施時の注意点を説明できる 13. 歯周病のリスクと歯周病におけるメンテナンスの目的・必要性を説明できる 14. メンテナンス時の評価項目と方法、処置を説明できる 15. 対象者の情報を分析し、歯周病予防計画を立案できる 16. 超音波スケーラーを操作できる 17. エアスケーラーを操作できる 18. 国家試験問題を解くことができる 		

授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1 2	<p>エクスプローラーについて</p> <p>歯面研磨について</p> <p>マネキン実習</p> <p>エクスプローラー、歯面研磨</p> <p>相互実習基本事項</p>	<p>講義</p> <p>実習</p>	<p>【課題】</p> <p>1年生のまとめ</p>
3 4	<p>相互実習</p> <p>口腔内観察</p> <p>歯式をとる</p>	<p>実習</p>	<p>【課題】</p> <p>実習記録</p>
5	<p>キュレットスケーラーについて</p> <p>キュレットスケーラー操作</p>	<p>講義</p>	<p>【小テスト】</p>
6	<p>シックルスケーラー・エクスプローラー マネキン実習</p>	<p>実習</p>	<p>【課題】</p> <p>実習記録</p>

7	相互実習	実習	【課題】
8	下顎前歯部シックル・キュレットタイプスケーラー		実習記録
9	マネキン実習 上顎前歯部キュレットタイプスケーラー	実習	【課題】 実習記録
10	相互実習	実習	【課題】
11	上前歯部シックル・キュレットタイプスケーラー・PTC		実習記録
12	実技試験、定期試験についての説明	講義 実習	【課題】 実習記録
13	実技試験	実技試験	
14			
15	中間試験 ・試験前質疑応答 30分 ・筆記試験 60分	筆記試験	
16	パワースケーラー	講義	
17	超音波スケーラー エアスケーラー		
18	シャープニング(シックルスケーラー)	講義 実習	【小テスト】
19	相互実習	実習	【課題】
20	超音波スケーラー		実習記録
21	イリゲーション	講義 実習	【小テスト】
22	相互実習	実習	【課題】
23	エアスケーラー		実習記録
24	上下前歯部キュレットスケーラー復習 マネキン実習	実習	【課題】 実習記録
25	相互実習	実習	【課題】
26	超音波スケーラー PTC		実習記録
27	マネキン実習 上下右側臼歯部キュレットスケーラー 相互実習 上下右側臼歯部キュレットスケーラー	実習 実習	【課題】 実習記録
28	歯面清掃器について	講義	【小テスト】
29	エバチップ、エアフロー	演習	
30	PMTC 講義	講義	
31	相互実習	実習	【課題】
32	PMTC(エバチップ)		実習記録
33	歯面清掃器講義	講義	
34	相互実習	実習	【課題】
35	歯面清掃器		実習記録

36	マネキン実習 上下左側臼歯部キュレットスケーラー	実習	【課題】 実習記録
37 38	相互実習 上下左側臼歯部キュレットスケーラー		【課題】 実習記録
39	シャープニング(キュレットスケーラー)	実習	【課題】 実習記録
40	SPT,メンテナンス	講義	
41 42	相互実習 口腔内診査 プロービング シックル、キュレットスケーラー、PTC	実習	【課題】 実習記録
43 44	実技試験	実技試験	
45	定期試験 ・試験前質疑応答 30分 ・筆記試験 60分	筆記試験	

使用テキスト	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 歯周病学
参考書・資料 等	
この授業科目の前提となる主な科目	歯周病予防法 I 予防システム論 微生物学 臨地・臨床実習
この授業科目から発展する主な科目	業務管理
成績評価の方法	評価時期:実技試験、定期試験 評価対象および配分:筆記・実技試験(70点)、出席状況(20点)、実習態度(10点)
その他 受講生への要望等	危険を伴う相互実習を行う教科になります。マネキンでの手技の確認をしっかりと行ってから実習に臨んでください。体調を整え、実習準備を怠らないようにしましょう。 実習の機会は少ないので欠席しないようにしてください。

授業科目名	う蝕予防法Ⅱ【夜間部】		
実務経験講師	○	実務経験	歯科衛生士
開講年度	2023年度	学 期	前期
年 次	2年次	授業回数	15回
単 位 数	1単位	単位時間数	30時間
授業科目の概要	<p>う蝕予防処置は歯科衛生士の三大業務の中の一つの歯科予防処置の中であり、重要な業務であります。</p> <p>う蝕発生や進行のメカニズムを理解し、歯科衛生士として人々の歯、口腔の健康の維持・増進をさせるためにう蝕予防の専門的な知識、技術を学びます。</p>		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. フッ化物応用を理解し、実践できる 2. う蝕活動性試験を理解し、実践できる 3. う蝕活動性試験に結果に基づいた予防プログラム作成する 4. 小窩裂溝填塞法を理解し、実践できる 5. う蝕予防のメンテナンスについて理解する 		

授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	フッ化物応用【1年次の復習】 う蝕活動性試験 フッ化物の応用(歯面塗布法・洗口法・歯磨剤) 小窩裂溝填塞法 相互実習についてのオリエンテーション	講義	フッ化物の応用 術式について小テスト
2	う蝕活動性試験 唾液分泌速度測定 Dentobuff®-Strip	講義 実習 実験室	実習日誌 白衣、帽子、筆記用具
3	う蝕活動性試験 デントカルトSM	実習 実験室	実習日誌 白衣、帽子、筆記用具
4	う蝕活動性試験 デントカルトLB 食事アンケート(う蝕予防プログラム立案のため)	実習 実験室	実習日誌 白衣、帽子、筆記用具
5	う蝕予防試験結果による予防プログラム作成 食事アンケートの結果も含める	演習 教室	予防プログラム作成
6	フッ化物応用 洗口法ミラノール 洗口液の作成及び使用方法の説明について 相互実習についてのオリエンテーション	講義 実習 実験室	実習日誌 白衣、帽子、筆記用具
7	フッ化物歯面塗布法の相互実習 歯ブラシ法(ゲル) PCR トレー法の練習	実習 実習室	実習日誌 白衣、帽子、筆記用具 マスク、グローブ、ゴーグル

8	フッ化物歯面塗布法の相互実習 トレー法(フォーム) 綿球法の見直し、復習	実習 実習室	実習日誌
9	フッ化物歯面塗布法の相互実習 綿球法(フッ化ナトリウム溶液)	実習 実習室	実習日誌
10	フッ化物歯面塗布法の実技試験 学生待機:教室 待機中は課題を行う 完全攻略本 P.614~649	実技試験 実習室	実習日誌 待機中は課題
11	フッ化物の応用のまとめ フッ化物の中毒量・算出法 フッ化物の応用 確認テスト	講義 教室 テスト	確認テスト
12	小窩裂溝填塞法 模型実習 マネキン実習	実習 実験室	実習日誌
13	小窩裂溝填塞法 実技試験 学生待機:教室 待機中は課題を行う 完全攻略本 P.614~649	実習 実験室	実習日誌
14	う蝕予防プログラムの仕上げ う蝕予防法定期テストのための復習・まとめ	講義	
15	定期試験	筆記試験	

使用テキスト	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会
参考書・資料 等	「歯科衛生士のためのう蝕予防処置法」
この授業科目の前提となる主な科目	予防システム論、口腔衛生学、公衆衛生学、保健指導論、臨床実習指導
この授業科目から発展する主な科目	保健指導論
成績評価の方法	評価時期:定期試験 評価対象及び配分:試験 8 割、授業態度 1 割、実技テスト・小テスト・提出物 1 割
その他 受講生への要望等	配布プリント、小テストのファイリングをきちんと行ってください。 提出物の期限を守り、授業態度を正してください。

授業科目名	保健指導論Ⅱ【夜間部】		
実務経験講師	○	実務経験	歯科衛生士
開講年度	2023年度	学 期	通年
年 次	2年次	授業回数	30回
単 位 数	3単位	単位時間数	60時間
授業科目の概要	健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持し、増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケアの基本となる知識、技術および態度を修得します		
授業科目の到達目標	1. 各ライフステージの一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる 2. 各ライフステージにおけるプロフェッショナルケアとセルフケアの歯科保健活動の目標を説明できる 3. 各ライフステージの特徴にあった必要な栄養素とその摂取量を理解する 4. 各ライフステージの食生活指導を実施できる 5. 各ライフステージの歯科保健指導を実施できる		

授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	1年次の復習	講義	
2	妊産婦期における保健指導 ①妊産婦の一般的特徴 ②妊産婦の口腔の特徴および望ましい歯科保健指導 ③妊婦歯科健診について	講義	教科書を読んでくる
3	乳児期における保健指導 ①乳児期の一般的特徴 ②乳児期の口腔の特徴および望ましい歯科保健指導	講義	教科書を読んでくる
4	乳児期における保健指導 ③離乳について説明できる ④口腔の発達について表を覚える	講義	教科書を読んでくる
5	幼児における保健指導 ①幼児の一般的特徴 ②口腔の特徴および望ましい歯科保健指導 ③食生活の特徴と栄養	講義	教科書を読んでくる
6	青年期における保健指導 ①青年期の一般的特徴 ②青年期口腔の特徴および望ましい歯科保健指導 ③食生活指導	講義	教科書を読んでくる
7	成人期における保健指導 ①成人期の一般的特徴	講義	教科書を読んでくる

	②成人期口腔の特徴および望ましい歯科保健指導 ③生活習慣病について		
8	青年期 成人期の保健指導 ①青年期の指導の演習 ②課題に沿った指導のプランニング	講義	教科書を読んでくる
9	青年期 成人期の保健指導 ①青年期の指導の演習 ②課題に沿った指導のプランニング	講義	教科書を読んでくる
10	ライフステージにあった栄養指導 ①妊娠期 ②乳児期	講義	教科書を読んでくる
11	ライフステージにあった栄養指導 ①幼児期	講義	教科書を読んでくる
12	ライフステージにあった栄養指導 ①青年期	講義	教科書を読んでくる
13	ライフステージにあった栄養指導 ①成人期	講義	教科書を読んでくる
14	まとめ		
15	中間試験		
16	老年期における保健指導 ①老年期の一般的特徴および口腔の特徴を述べる ②老年期の身体的変化に伴う食生活の特徴と口腔への影響について理解する ③一般的特徴および口腔の特徴を把握し、歯科保健指導ができる	講義	
17	要介護高齢者における保健指導 ①要介護者の一般的特徴および口腔の特徴を説明できる ②要介護高齢者の生活状況について説明できる ③要介護高齢者の口腔ケアの意義・効果について説明できる	講義	
18	要介護高齢者における保健指導① ①要介護高齢者の口腔機能の評価方法について説明できる ②要介護高齢者の食生活について	講義	
19	高齢者保健(介護予防サービス)における歯科保健指導 ①「口腔機能向上」プログラムを理解する	講義	
20	障害者における保健指導① ①社会的背景と障害について説明できる ②主な障害について説明できる	講義	

21	障害者における保健指導② ①一般的特徴および口腔状況を把握し歯科保健指導ができる	講義	
22	口腔機能向上プログラムの総括	講義	
23	口腔機能向上の訓練法練習 ・間接訓練を実施する ・直接訓練を理解する	演習	
24	分析のためのデータ ①プラーク・歯	実習	
25	歯科衛生過程復習① ①歯科衛生アセスメントをとる ②歯科衛生診断、歯科衛生計画立案を行う	演習	
26	歯科衛生過程復習② ①客観的情報の収集 ②口腔内所見とエックス線の見かた	演習	
27	臨床における歯科衛生活動 ①患者の基礎データから情報収集する ②目標の設定と介入の計画	演習	
28	臨床における歯科衛生活動 ①計画に沿って、実施する ②評価する	実習	
29	まとめ	講義	
30	定期試験	試験	

使用テキスト	最新歯科衛生教本「歯科予防処置論・歯科保健指導」「保健生態学第3版」
参考書・資料 等	
この授業科目の前提となる主な科目	口腔衛生学、公衆衛生学、保健指導論Ⅱ
この授業科目から発展する主な科目	栄養学
成績評価の方法	定期試験 GWの参加度 授業態度
その他 受講生への要望等	

授業科目名	歯科診療補助法Ⅱ【夜間部】		
実務経験講師	○	実務経験	歯科衛生士
開講年度	2023年度	学期	通年
年次	2年次	授業回数	60回
単位数	4単位	単位時間数	120時間
授業科目の概要	さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関する基礎的知識、技術および態度を修得します。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科診療補助における歯科衛生士の役割を理解している 2. 診療前の準備を行うことができる 3. X線写真撮影の準備、補助ができる 4. 口腔内写真撮影の方法がわかる 5. 材料の特徴を理解し、印象採得、石膏模型の作製、仮封材の取扱いができる 6. ラバーダム防湿ができる 7. 各診療時の治療手順が説明できる、 8. 各種治療時の準備ができる、 9. 器具、器材の種類と用途を説明できる 10. 治療前後の患者説明ができる 		

授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	診療前の準備 ①綿栓、綿球、ガーゼ、ワッテ ②消毒液 ③清拭	講義 実習	【課題】 ・実習記録
2	器具器材の受け渡し、バキューム操作 患者誘導・ライティング	講義 実習	【課題】 ・実習記録
3	X線の準備・片付け ①自動現像機のお手入れ ②自動現像機の取扱い ③デンタルX線フィルムの現像	講義 実習	【課題】 ・実習記録
4	仮封材の基礎知識 テンポラリーストップピング、セメント系仮封材 水硬性仮封、仮封用軟質レジン サンダラックバーニッシュ 模型実習	実習	【課題】 ・実習記録

5	印象の復習 印象採得について 印象材の種類、特徴 ① アルジネート印象材	講義 実習	【課題】 ・実習記録
6	② シリコン印象材 寒天アルジネート印象採得ラバーダム防湿の基礎知識 ①器具の名称と用途 模型実習		
7	石膏の種類、特徴 ① 石膏の取扱い ② 石膏の練和方法	実習	【課題】 ・実習記録
8	石膏注入模型実習(普通石膏、硬石膏、超硬石膏) ラバーダム防湿実習 相互実習		
9	バキューム操作、ライティングの基本 ① バキューム	実習	【課題】 ・実習記録
10	ライティングアルジネート印象採得 相互実習 片顎		
11	ラバーダム防湿の基礎知識 ① 器具の名称と用途	実習	【課題】 ・実習記録
12	模型実習アルジネート印象採得 相互実習 全顎		
13	歯間分離法、隔壁法に用いる器具の操作 ① セパレーター ② ウェッジ ③ マトリックスバンド	実習	【課題】 ・実習記録
14	直接修復について ① コンポジットレジン修復 ガラスアイオノマー修復仮封材の基礎知識		
15	診査法 直接修復について	実習	【課題】 ・実習記録
16	Black の窩洞 歯間分離法、隔壁法		
17	直接修復の治療の手順、使用器材	使用器材	【課題】 ・実習記録
18	コンポジットレジン修復		

19	ワックスの基礎知識 ワックスの種類と用途 咬合採得について ワックス ②シリコーン	講義	【小テスト】 ・前回の授業内容
20	相互実習 片顎 印象採得石膏の種類、特徴	講義 実習	【小テスト】 ・前回の授業内容
21 22	相互実習 全顎の印象採得、咬合採得 石膏注入全顎の印象採得、咬合採得	講義 実習	【課題】 ・実習記録
23 24	石膏のトリミング 石膏枠づけ模型製作 石膏トラップ片付け 直接修復の復習	実習	【課題】 ・実習記録
25	復習 前期振り返り ライティング、バキューム	実習	【課題】 ・実習記録
26 27	相互実習 印象採得(寒天アルジネート連合印象の体験) 咬合採得	実技試験	【課題】 ・実習記録
28 29	実技試験 ① ラバーダム防湿(模型) ② 仮封材	筆記試験	【課題】 ・実習記録
30	中間試験 試験前質疑応答 30分 筆記試験 60分	講義 実習	
31 32	間接修復の治療の手順、使用器材 インレー修復 歯肉圧排、精密印象採得	講義 実習	【課題】 ・実習記録
33 34	歯髄炎の分類、診査法 歯髄保存療法と歯髄除去療法	講義 実習	【課題】 ・実習記録
35 36	歯髄処置時の診療補助 抜髄・根充の手順、使用器材	講義	【課題】 ・実習記録
37 38	補綴治療の診療補助 補綴物の種類 歯肉圧排法に用いる器具の操作 クランプ、歯肉圧排系、外科的排除法	講義 実習	【課題】 ・実習記録
39 40	義歯製作の手順、使用器材 義歯修理、リベース	講義 実習	【課題】 ・実習記録

41	口腔外科治療・歯周外科治療の診療補助	講義	【課題】
42	拔牙、難拔牙の手順、使用器材	実習	・実習記録
43	外科器具の取扱い 滅菌、消毒	講義 実習	【課題】 ・実習記録
44	縫合針、注射器の取扱い 歯周パットの取り扱い		
45	矯正治療の診療補助 ①バンド合着	講義 実習	【課題】 ・実習記録
46	① ダイレクトボンディング ② バンドの撤去		
47	オスキー試験	講義	
48	歯内療法、歯周外科、補綴、口腔外科の診療の流れ 器具の受け渡し	実習	
49	小児歯科治療の診療補助	講義	【課題】
50	対応方法 乳歯冠、クラウンフォームを使用した乳歯冠修復手順、使用器材	実習	・実習記録
51	暫間被覆冠の製作 ①既成冠法	講義 実習	【課題】 ・実習記録
52	②直接法 ③印象による方法		
53	漂白法 ①オフィスブリーチ	講義 実習	【課題】 ・実習記録
54	②ホームブリーチ ③ウォーキングブリーチ		
55	全身疾患とその対応法	講義	
56			
57	口腔内写真撮影について カメラの使い方	実技	【課題】 ・実習記録
58	口腔内写真撮影のデモ 相互実習 口腔内写真撮影(5枚法撮影)		
59	歯科診療補助まとめ・質疑応答	講義	
60	定期試験 ・試験前質疑応答 30分 ・筆記試験 60分	筆記試験	

使用テキスト	歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 歯科衛生学シリーズ 歯科機器
--------	-------------------------------------

	歯科衛生学シリーズ 歯科材料 一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版株式会社
参考書・資料 等	
この授業科目の前提となる主な科目	実習科目：歯科保健指導論、歯周病予防法、う蝕予防法 講義科目：歯科衛生士概論
この授業科目から発展する主な科目	実習科目：歯科保健指導論、歯周病予防法、う蝕予防法 講義科目：救急蘇生法、臨床検査法
成績評価の方法	筆記試験(40点)、実技試験(40点)、小テスト・課題(20点) 欠席状況、授業態度(減点評価)
その他 受講生への要望等	課題は提出期限を厳守する事(過ぎた場合は減点)。 実習をやむを得ず欠席した場合、申し出があれば補講を行います。

授業科目名	業務管理【夜間部】		
実務経験講師	○	実務経験	歯科衛生士
開講年度	2023年度	学 期	後期
年 次	2年次	授業回数	8回
単 位 数	1単位	単位時間数	15時間
授業科目の概要	歯科医療受診の流れや保険診療の仕組みを理解し、診療や受付業務をスムーズに進めることができる能力を育成する。		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科診療の基礎知識を把握する 2. 歯科医療受診の流れを理解する 3. 保険の仕組みがわかる 4. 歯科の略語がわかる 5. カルテから治療の流れを読み取ることができる 		

授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	歯科医療受診の流れ 保険制度の概要、保険請求の仕組み	講義	課題プリント
2	歯の基礎知識、略語 1号カルテの見方、書き方	講義	課題プリント 小テスト
3	診療の流れとカルテのルール (初期う蝕、歯髄炎の治療の流れ)	講義	課題プリント 小テスト(略語)
4	診療の流れとカルテのルール (抜髄、根管治療、根管充填)	講義	課題プリント 小テスト(略語)
5	診療の流れとカルテのルール (歯周治療の流れ)	講義	課題プリント 小テスト(略語)
6	診療の流れとカルテのルール (補綴物の治療の流れ)	講義	課題プリント 小テスト(略語)
7	振り返り レセプト記入	講義	課題プリント 小テスト(略語)
8	定期試験	筆記試験	

使用テキスト	
参考書・資料 等	
この授業科目の前提となる主な科目	歯周病予防法Ⅰ、歯周病予防法Ⅱ、歯科診療補助法Ⅱ、歯科保存学、歯周療法学、 歯科補綴学、口腔外科学・麻酔学、歯科放射線学、小児歯科学、歯科医療接遇
この授業科目から発展する主な科目	衛生行政福祉論

成績評価の方法	定期試験(80点) 小テスト、提出物(10点) 授業態度(10点)
その他 受講生への要望等	受け付けだけではなく、スムーズに診療を進めていくために必要な科目になります。 小テストを行いますのでしっかり勉強をしましょう。

授業科目名	実習指導Ⅱ【夜間部】		
実務経験講師	○	実務経験	歯科衛生士
開講年度	2023年度	学 期	後期
年 次	2年次	授業回数	15回
単 位 数	1単位	単位時間数	30時間
授業科目の概要	臨地・臨床の現場における歯科衛生士の役割を学び、医療人としてふさわしい態度を学びます。スムーズに実習に取り組むことが出来るよう実習目的を理解し、事前学習を行います。		
授業科目の到達目標	1.臨地・臨床の現場における歯科衛生士の役割を理解できる 2.医療従事者としてふさわしい対応ができる 3.歯科診療の流れを理解できる 4.偶発時の対応を理解できる		

授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	臨地・臨床実習Ⅱの概要 単位、評価項目、日程の説明	講義	
2	実習の手引き 説明 ①実習の目的 ②実習に臨む態度、身だしなみ	講義	
3	矯正歯科実習について ①概要説明 ②実習の目的、目標、評価、日程	講義	
4	訪問歯科実習について ①概要説明 ②実習の目的、目標、評価、日程	講義	
5	矯正歯科、訪問歯科事前学習	講義	
6	矯正歯科、訪問歯科 まとめ ①実習で見学した症例や学んだ事について	演習	
7	矯正歯科、訪問歯科 発表	演習	
8	臨床実習事前指導 ・実習日程、目標等の確認 ・日誌、出欠表、評価表の書き方 ・実習施設への連絡	講義	
9	臨床実習事前指導	実習	
10	・実技練習(印象材、石膏、セメント等)		
11	臨床実習事前指導	実習	
12	・実技練習(器材準備、受け渡し)		

13	臨床実習事前指導 実習の手引き ・医療安全 ・実習生としての心構え	講義	
14	臨床実習事前指導 ・オリエンテーション内容、日程等の確認	講義	
15	臨地・臨床実習振り返り	講義	

使用テキスト	実習の手引き
参考書・資料 等	ポケットマニュアル
この授業科目の前提となる主な科目	全ての科目
この授業科目から発展する主な科目	全ての科目
成績評価の方法	課題、小テスト、授業態度、出欠席、実習日誌
その他 受講生への要望等	臨地・臨床実習を安全に、そしてより学びの深い物とするために欠席のないようにしましょう。

授業科目名	臨地・臨床実習Ⅱ【夜間部】		
実務経験講師	○	実務経験	歯科衛生士
開講年度	2023年度	学 期	後期
年 次	2年次	授業回数	—
単 位 数	5単位	単位時間数	225時間
授業科目の概要	<p>学内で学んだ知識・技術・態度をもとに、歯科医療現場で実践実習を行います。</p> <p>様々な歯科医療現場での歯科衛生士の役割を認識し、責務を自覚した行動がとれる能力を養うための実習です。</p>		
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科衛生士の活躍の場を知る 2. 矯正歯科医院での歯科衛生士の役割を知る 3. 訪問歯科での歯科衛生士の役割を知る 4. 歯科診療所での診療の流れを理解できる 5. 歯科診療所でスムーズな診療のための役割が理解できる 6. 歯科診療時に必要な準備や片付けができる 7. 歯科診療時に必要な器具の受け渡しができる 8. 安全に考慮した対応が出来る 9. 清潔、不潔の理解をし、それに応じた対応が出来る 		

授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1		7時間×2日(14時間)	臨地・臨床実習日誌 実習課題、振り返り
2	臨地実習Ⅱ	7時間×1日(7時間)	臨地・臨床実習日誌 実習課題、振り返り
3	歯科医院実習Ⅱ	7時間×29日 8時間×1日(204時間)	臨地・臨床実習日誌 実習後振り返り

使用テキスト	新人歯科衛生士・デンタルスタッフ ポケットマニュアル 医歯薬出版株式会社
参考書・資料 等	
この授業科目の前提となる主な科目	臨地・臨床実習Ⅰ
この授業科目から発展する主な科目	
成績評価の方法	実習先担当者の評価(50%)、実習日誌・欠席・遅刻(50%)
その他 受講生への要望等	<p>校外実習のため、指導者の指示に従い実習を行うことになります。</p> <p>学生としての謙虚さと、歯科衛生士としての現場に出るという意識をもって臨んでください。</p>

授業科目名	特別活動【夜間部】		
実務経験講師	○	実務経験	歯科衛生士
開講年度	2023年度	学 期	後期
年 次	2年次	授業回数	8回
単 位 数	1単位	単位時間数	15時間
授業科目の概要	行事を通じて職業人としての心構えを育み、協調性を身に着けます。		
授業科目の到達目標	1. 職業人としての常識が理解出来る 2. 式典への出席を通して礼儀作法を身に着ける 3. 歯科衛生士を目指すモチベーションを高める		

授業スケジュールと内容

回	内 容	授業方法	課題／小テスト
1	IPE 中間期演習授業	講義	IPE
2	決意式オリエンテーション	講義	
3	決意式合同練習①	演習	
4	決意式合同練習②	演習	
5	決意式 リハーサル	演習	
6	決意式 当日	式典	
7	模擬試験 DHS	模擬試験	
8	大掃除	演習	

使用テキスト	
参考書・資料 等	
この授業科目の前提となる主な科目	
この授業科目から発展する主な科目	実習指導Ⅱ、Ⅲ
成績評価の方法	出席、身だしなみ、態度など総合的に判断します。
その他 受講生への要望等	